

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	美浜地区内水面漁業再生委員会
代表者名	会長 武田 豊

再生委員会の 構成員	南西郷漁業協同組合、新庄淡水漁業生産組合 耳河川漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、美浜町
オブザーバー	福井県

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	耳川流域（アユ、ヤマメ、イワナ） 久々子湖（シジミ、ウナギ、ハゼ） 組合員数 212人 美浜町漁協（美浜漁家組合） 早瀬支部： 9人 南西郷漁協： 44人 耳河川漁協： 152人 新庄淡水組合： 7人
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

耳川は、滋賀県と福井県の県境を水源とし、美浜町を縦断して若狭湾に注ぐ延長12kmの清流に恵まれた河川で、アユ釣りの名所として知られており、県内はもとより関西・中京方面からの多くの釣り人で例年賑わっている。

耳川流域では耳河川漁業協同組合が主体となり、アユの資源確保に向けた稚魚放流や河川清掃による河川環境の保全等を行っている。

また、耳川上流域においては、新庄淡水漁業生産組合が主体となりニジマス・イワナ等の養殖魚を活用した漁業体験を年間通じて実施していると共に、自然と触れ合えるレクリエーションの場として多くの利用者が水辺体験に親しんでいる。

一方、久々子湖においては、南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が昔から各種稚魚の放流を実施しており水産資源の増大確保に努力しており、ウナギ・ハゼ等の漁業が営まれている。併せて、南西郷漁業協同組合、美浜町漁業協同組合によりシジミ稚貝の放流を自発的に継続しており、シジミ漁の向上に力を注いでいる。

しかし、地区内の水産業を取り巻く環境は依然として厳しく、漁業者の高齢化や後継者不足等により漁業就労者は減少の一途を辿っており、年々経営が厳しく加えて、魚離れ等による魚価の低迷等により漁業経営は厳しい状況である。

そのような状況のなか、近年では、関東・関西圏の各種学校をターゲットとした、

耳川流域での溪流魚釣り体験・さばき方体験と久々子湖におけるシジミ採り体験やボート体験を連携した体験学習の場として活用することにより多数の利用者が訪れるようになった。

しかし、現状では溪流釣りや魚のさばき方体験を実施する施設や設備が手狭となっており、今後の体験者の更なる受入を目指していくうえで、施設等の大規模化が必要となる。

周辺地域においては、今後ますます耳川のアユ、久々子湖のシジミについての関心が高まり、新規美浜ブランドとしての認定が叫ばれ、地域活性化の大きな目玉となることが期待できる。

(2) その他の関連する現状等

当該地区は、平成23年度より漁業体験等のメニューを含んだ体験学習を県内外の小中学校から受け入れており、中でもとりわけ漁業体験の受講希望者数が多く、リピーターの割合が大きいなど漁村の活性化の一端を担っている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

低迷している耳川流域及び久々子湖の水産業の振興を図り、内水面水産業の発展及び活力ある地域の発展に寄与する。

(1) 漁業収入向上のための施策

①シジミ漁獲量の増加

久々子湖におけるシジミ生息場所を確保するため、流出した浅場の覆砂の補充等の既設浅場の整備を行うと共に、新規に浅場造成を実施し湖全体における浅場面積の増大を図り、漁獲量の増加を図る。

②誘客数増加への取組み

ボート体験についてはNPO及び美浜町役場が、シジミ漁体験については南西郷漁業協同組合・美浜町漁業協同組合が主体となり、耳川による溪流魚釣り体験・魚さばき方体験については耳川協同組合・新庄淡水漁業生産組合が各体験の主体となり実施しているが、今後は徐々に美浜町役場及び各漁協と連携を取りながら各体験イベントを合同で実施し、湖・河川を様々な体験を通して一度に楽しめる滞在型のイベントとして各種自然体験を全国にPRし、流域への誘客を図る。

また、新庄淡水漁業生産組合の所有する漁業管理施設を整備することにより、体験学習の1回当たりの受入体験人数及び体験学習のリピーターを増やし、内水面漁業に対する魅力を再発見するとともに更なる誘客を図る。

③販売・出荷販売方法の検討

美浜町には、海・河川・湖があり、1町において海産物鮮魚、溪流魚やシジミ

等の内水面魚種等の全ての食材を食することができる環境を町の売りとして発信し、美浜町役場が主となりPRしている美浜ブランドの食材の中に、アユ、シジミ等内水面資源を新たに盛り込み、各漁協、流通業者と共に美浜ブランドの展開方針・方法を決定する。

特にシジミの出荷については、現在漁業者個人にて個別に行っているが、漁獲量についても日々の変動が大きく、価格も統一性が無く漁業収入が不安定であることから、今後は、南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が中心となり漁獲物を一元的に集約し、漁協が適正な価格を定め販売する方式を検討し漁業所得の安定を図る。

(2) 漁業コスト削減に伴う取組

① 稚貝放流量の削減

南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミ稚貝購入放流方式から自然親貝からの自然産卵による資源の増大による稚貝購入代金の削減を図るため、試験研究機関の実施する講演会へ積極的に参加するだけでなく、現地に専門家を呼び指導を受ける。

またシジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。

② 稚魚放流量の削減

耳河川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳川流域において天然アユの産卵場の改善及び新規造成、海からの遡上を容易にするための河口部の重機による堆積土砂の撤去を精力的に実施し、天然魚の遡上量の増大及び生存率の向上により、稚魚購入代金の削減を図る。

またそれらの効果をより発揮させるため、定期的に環境美化に取り組めるよう町民と2組合（耳河川漁業協同組合・新庄淡水漁業生産組合）が連携できる体制を作り、天然遡上アユの多い耳川を流域全体で取り組む。

③ 中間育成技術の研修・習得

新庄淡水漁業生産組合では、溪流釣りやさばき方体験を実施している。使用する溪流魚は成魚で購入し、飼育しているが、稚魚で購入し中間育成することで購入費及び輸送費のコストの削減を図る。併せて遊漁者の要望に応じたサイズでの提供が可能となる。しかし中間育成は対象が生き物であることから、その管理方法等によって稚魚の生存率や成長具合が大きく左右される。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

○アユ、ヤマメ等については、福井県内水面漁業調整規則及び耳河川漁業協同組合遊漁規則等により、遊漁期間、禁漁区設定、漁具漁法について詳細に規制し資源の維持管理を推進する。

○シジミについては、福井県内水面漁業調整規則により漁業期間・漁具等について詳細に規制しこれらの規制により、水産資源の保護を図り安定的な漁業活動を推進する。

資源維持対策として、種苗放流と今後計画している天然種苗活用による種苗生産を拡大し、資源維持を図ると共に、漁協が中心となり湖底清掃や藻類の除去、湖底耕うんの頻度及び範囲の拡大を検討協議し推進する。

(3) 具体的な取り組み内容（年度ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（平成 28 年度）

以下の取組で漁業所得を基準年度比 0.0% 向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>①シジミ漁獲量の増加</p> <ul style="list-style-type: none">・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミの増殖増産に必要な浅場造成地建設に向けた環境調査を実施し、浅場造成に適した箇所を選定し実施に向けての計画を策定する。 <p>②誘客数増加への取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・美浜町役場が主体となり、久々子湖でのボート体験とシジミ体験、耳川流域における溪流釣りを組み合わせた体験学習プランを都市部の各種学校等へ PR し体験者の誘致増加を目指す。・美浜町で開催される各種イベントに合わせ、河川・湖の各漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合（以下 4 組合）が各漁獲物の販売や PR を実施し、新たな地域の魅力を積極的に PR する。・4 組合は、体験学習等で当町を訪れた体験者に対して、別の体験プランや食材を現地にて PR し、リピーターとしての取り込みを図る。 <p>③販売・出荷販売方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none">・美浜町役場が主体となり、現在、鮮魚を中心に美浜ブランドとして PR している食材の中に、今後、内水面漁業にて多く漁獲が想定されるアユ、シジミ等を新たに含めた美浜ブランドの展開方針・方法を各漁協、流通業者と共に検討し計画する。・久々子湖においては、南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、シジミの出荷体制の確立に向け、現状把握・課題の整理や具体的案を協議検討し推進体制を構築する。
--------------	--

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①稚貝放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミ稚貝購入放流方式から自然親貝からの自然産卵による資源の増大による稚貝購入代金の削減を図るため、試験研究機関の実施する講演会へ積極的に参加する。 ・シジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。 <p>②稚魚放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳川流域において既存の産卵場の状況確認及び造成適地の選定を行う。また土砂の堆積状況確認から、撤去の優先順位を決定する。 ・町民及び2組合が協議し、河川の漂着ゴミ、流木等の定期的な河川清掃を実施し、河川の環境保美化に取り組む体制を構築する。 <p>③中間育成技術の研修・習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄淡水漁業生産組合では、溪流釣りやさばき方体験に活用する溪流魚の飼育コストを削減するために中間育成に関する技術・知識及び、孵化技術の更なる技術を取得し、中間育成による溪流魚の活用を推し進めることで経費の削減を図る。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>美浜町単独内水面補助事業</p>

2年目(平成29年度)

以下の取組で漁業所得を基準年度比1.6%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①シジミ漁獲量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミの増殖増産に必要な浅場造成地建設に向けた環境調査を実施し、浅場造成に適した箇所を選定し実施に向けての計画を策定する。 <p>②誘客数増加への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、久々子湖でのボート体験とシジミ漁体験、耳川流域における溪流釣りを組み合わせた体験学習プラ
---------------------	---

	<p>ンを都市部の各種学校等へ PR し体験者の誘致増加を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町で開催される各種イベントに合わせ、河川・湖の各漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合（以下 4 組合）が各漁獲物の販売や PR を実施すると共に、独自のイベント（感謝祭等）を開催し町民や一般観光客に内水面漁業やその恵みの魅力を再発見できる場とする。 ・4 組合は、体験学習等で当町を訪れた体験者に対して、別の体験プランや食材を現地にて PR し、リピーターとしての取り込みを図る。 <p>③販売・出荷販売方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、内水面魚種を含めた美浜ブランドの活用、都市部販売店舗への新規流通経路を町と漁協者、流通販売業者が一体となり新規販路ルート開拓・拡大に努める。 ・久々子湖においては、南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、引き続きシジミの出荷体制の確立に向け、現状把握・課題の整理や具体的案を協議検討し推進体制を構築する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①稚貝放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミ稚貝購入放流方式から自然親貝からの自然産卵による資源の増大による稚貝購入代金の削減を図るため、試験研究機関の実施する講演会へ引き続き積極的に参加する。 ・シジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。 <p>②稚魚放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳河川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳川流域において産卵場の改善及び新規造成、堆積土砂の撤去を実施し、天然魚の遡上量の増大及び生存率の向上により、稚魚購入代金の削減を図る。 ・町民及び 2 組合が連携して、河川の漂着ゴミ、流木等の定期的な河川清掃を実施し、河川の環境保美化に取り組む。 <p>③中間育成技術の研修・習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄淡水漁業生産組合では、引き続き溪流釣りやさばき方体験に活用する溪流魚の飼育コストを削減するために中間育成に関する技術・知識及び、孵化技術の更なる技術を取得し、中間

	育成による溪流魚の活用を推し進めることで経費の削減を図る。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。
活用する支援措置等	みんなで作る川・湖資源総合活用事業 水産多面的機能発揮対策事業 美浜町単独内水面補助事業

3年目(平成30年度)

以下の取組で漁業所得を基準年度比1.5%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>①シジミ漁獲量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミの増殖増産に必要な浅場造成地を、湖岸周辺に1.0ha整備し、資源の増殖・漁業収入向上を目指し取り組む。 <p>②誘客数増加への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、久々子湖でのポート体験とシジミ漁体験、耳川流域における溪流釣りを組み合わせた体験学習プランを都市部の各種学校等へPRし体験者の誘致増加を目指す。 ・美浜町で開催される各種イベントに合わせ、河川・湖の各漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合(以下4組合)が各漁獲物の販売やPRを実施すると共に、独自のイベント(感謝祭等)を開催し町民や一般観光客に内水面漁業やその恵みの魅力を再発見できる場とする。 ・4組合は、体験学習等で当町を訪れた体験者に対して、別の体験プランや食材を現地にてPRし、リピーターとしての取り組みを図る。 <p>③販売・出荷販売方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、内水面魚種を含めた美浜ブランドの活用、都市部販売店舗への新規流通経路を町と漁協者、流通販売業者が一体となり引き続き新規販路ルート開拓・拡大に努める。 ・久々子湖においては、南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、次年度からのシジミの出荷体制の試験的な運用に向け、最終案を決定する。
漁業コスト削減のための取組	<p>①稚貝放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミ稚貝購入放流方式から自然親貝からの自然産卵による資源の増大による稚貝購入代金の削減を図

	<p>るため、試験研究機関の実施する講演会へ引き続き積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。 <p>②稚魚放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳川流域において産卵場の改善及び新規造成、堆積土砂の撤去を引き続き実施し、天然魚の遡上量の増大及び生存率の向上により、稚魚購入代金の削減を図る。 ・町民及び2組合が連携して、河川の漂着ゴミ、流木等の定期的な河川清掃を実施し、河川の環境保美化に取り組む。 <p>③中間育成技術の研修・習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄淡水漁業生産組合では、引き続き溪流釣りやさばき方体験に活用する溪流魚の飼育コストを削減するために中間育成に関する技術・知識及び、孵化技術の更なる技術を取得し、中間育成による溪流魚の活用を推し進めることで経費の削減を図る。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>浜の活力再生交付金 水産多面的機能発揮対策事業 みんなで作る川・湖資源総合活用事業 美浜町単独内水面補助事業</p>

4 年目 (平成 31 年度)

以下の取組で漁業所得を基準年度比 77% 向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①シジミ漁獲量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミの増殖増産に必要な浅場造成地を、湖岸周辺に 1.0ha 整備し、平成 27 年度より 1,860 kg の漁獲量の増加、及び漁業収入向上を目指し取り組む。 <p>②誘客数増加への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、久々子湖でのボート体験とシジミ漁体験、耳川流域における溪流釣りを組み合わせた体験学習プランを都市部の各種学校等へ PR し体験者の誘致増加を目指す。 ・美浜町で開催される各種イベントに合わせ、河川・湖の各漁業協
---------------------	--

	<p>同組合及び新庄淡水漁業生産組合（以下4組合）が各漁獲物の販売やPRを実施すると共に、独自のイベント（感謝祭等）を開催し町民や一般観光客に内水面漁業やその恵みの魅力を再発見できる場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4組合は、体験学習等で当町を訪れた体験者に対して、別の体験プランや食材を現地にてPRし、リピーターとしての取り込みを図る。 ・新庄淡水漁業生産組合が実施している漁業体験の内容拡充に伴う体験受講者数増加に対応するため、体験施設の設備改修を検討する。 <p>③販売・出荷販売体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、昨年度までに検討してきた美浜ブランドの消費・流通量を増大させるため、都市部への販売・PR活動を開始する。 ・久々子湖においては南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、シジミを漁業者より買とり、選別・出荷までのルートを一元化し、漁業所得の向上・安定化を図るよう出荷販売体制を段階的に整備する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①稚貝放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖においてシジミ稚貝購入放流方式から自然親貝からの自然産卵による資源の増大による稚貝購入代金の削減を図るため、試験研究機関の実施する講演会へ引き続き積極的に参加するとともに、昨年度造成した浅場に専門家を招き指導を受ける。 ・シジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。 <p>②稚魚放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳河川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳河流域において産卵場の改善及び新規造成、堆積土砂の撤去を引き続き実施し、天然魚の遡上量の増大及び生存率の向上により、稚魚購入代金の削減を図る。 ・町民及び2組合が連携して、河川の漂着ゴミ、流木等の定期的な河川清掃を実施し、河川の環境保美化に取り組む。 <p>③中間育成技術の研修・習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄淡水漁業生産組合では、引き続き溪流釣りやさばき方体験に活用する溪流魚の飼育コストを削減するために中間育成に関する

	る技術・知識及び、孵化技術の更なる技術を取得し、中間育成による溪流魚の活用を押し進めることで経費の削減を図る。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。
活用する支援措置等	浜の活力再生交付金 水産多面的機能発揮対策事業 美浜町単独内水面事業補助

5 年目(平成 32 年度)

以下の取組で漁業所得を基準年度比 257.5%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>①シジミ漁獲量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖において整備された浅場を利用し、禁漁地と採取地を隔年的に設けるなどの方策を活用し、シジミ増殖に取り組み漁獲高の増加、及び漁業収入向上を目指し取り組む。 平成 27 年実績 浅場造成面積 : 1.26ha 漁獲量 : 6.45t 平成 32 年計画 浅場造成面積 : 3.26ha 漁獲量 : 16.62t <p>②誘客数増加への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、久々子湖でのボート体験とシジミ漁体験、耳川流域における溪流釣りを組み合わせた体験学習プランを都市部の各種学校等へ PR し体験者の誘致増加を目指す。 ・美浜町で開催される各種イベントに合わせ、河川・湖の各漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合(以下 4 組合)が各漁獲物の販売や PR を実施すると共に、独自のイベント(感謝祭等)を開催し町民や一般観光客に内水面漁業やその恵みの魅力を再発見できる場とする。 ・4 組合は、体験学習等で当町を訪れた体験者に対して、別の体験プランや食材を現地にて PR し、リピーターとしての取り組みを図る。 ・新庄淡水漁業生産組合が実施している漁業体験の内容拡充に伴う体験受講者数増加に対応するため、詳細な体験施設改修案を選定し次年度以降の実施に向け計画推進する。 <p>③販売・出荷販売体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町役場が主体となり、美浜ブランドの消費・流通量を増大させるため、都市部への販売・PR 活動を引き続き実施する。 ・久々子湖においては南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、シジミを漁業者より買とり、選別・出荷までのルートを一元化し、漁業所得の向上・安定化を図るよう、必要に応じて昨年度の体制の改善を行い、運用を続ける。
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①稚貝放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南西郷漁業協同組合及び美浜町漁業協同組合が主体となり、久々子湖において昨年度までに造成した浅場を活用し、シジミ稚貝放流量の削減により稚貝購入代金の削減を図るとともに、自然親貝からの自然産卵による資源の増大を図る。 ・シジミ稚貝の生息の障害となる藻類、沈水植物の除去や湖底耕うんによる餌料生物の活性化、漁ろう中は出航・操業・帰港時における漁船の減速航行を実施し、船波による浅場への影響を少なくし生息環境の保全に努め、シジミの生息環境の改善による生残率の向上に努める。 <p>②稚魚放流量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳河川漁業協同組合及び新庄淡水漁業生産組合が主体となり、耳川流域において産卵場の改善及び新規造成、堆積土砂の撤去を引き続き実施し、天然魚の遡上量の増大及び生存率の向上により、稚魚購入代金の削減を図る。 ・町民及び2組合が連携して、定期的に河川の漂着ゴミ、流木等の定期的な河川清掃を実施し、河川の環境保美化に取り組む。 <p>③中間育成技術の研修・習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄淡水漁業生産組合では、引き続き溪流釣りやさばき方体験に活用する溪流魚の飼育コストを削減するために中間育成に関する技術・知識及び、孵化技術の更なる技術を取得し、中間育成による溪流魚の活用を推し進めることで経費の削減を図る。そこで福井県内水面総合センターや民間の経験者などから、溪流魚の中間育成に係る実技研修等を受け、飼育員のスキルアップを図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産多面的機能発揮対策事業 美浜町単独内水面事業補助</p>

(4) 関係機関との連携

美浜町では、鮮魚や米などの農作物を筆頭に熟成魚（へしこ、塩ブリ）、鮮魚のブランド化を進めているところである。今後は、河川や内水面漁業での漁獲増大が期待できるシジミ・アユ等を美浜町のブランドに新たに加え、町ブランド力を高め販路拡大に努めていく計画である。

シジミ、アユ等の資源調査並びに取組の実施にあたり、福井県、美浜町と連携を図ると共に、毎年度の事業の進捗状況や効果を精査し、課題修正や追加対応を整理してシジミ、アユ等の漁業所得向上に向けた取組を推進する。

また、漁業者の高齢化による就業者の減少対策として県内の漁協、ハローワーク等と連携し新規漁業者の採用を図るなど、後継者の確保及び若年漁業者の人材確保を強化する。

今後は、都市圏への販売ルートを確保すると共に、出荷方法の検討・出荷体制の確立や一時加工による食材の提供等を含め、漁業者、流通業者と一体となり新鮮な食材を提供できる体制を構築する。

各種取組を推進する中で、漁協と美浜町及び関係機関が一体となり毎年度の事業の進捗状況や効果を精査し、新たな課題の修正や追加対応事項を整理し、美浜町ブランドのアユ、シジミの評価向上と漁業所得向上に向けた取組を推進する。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 10%	基準年	平成	年度：漁業所得	千円
	目標年	平成	年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプラントの関連性

事業名	事業内容及び「浜の活力再生プラン」との関係性
浜の活力再生交付金 (ハード事業)	久々子湖における浅場造成を実施する。
みんなで作る川・湖資源総合 活用事業	耳河川漁業協同組合と遊漁者・地域住民が一体的に 漁場管理に取り組む。
水産多面的機能発揮対策事業	生態系維持を目指した浅場の整備、資源の増殖確保 に応じた活動を行う
美浜町単独内水面事業補助	種苗（稚貝・稚魚）放流による資源確保